

## 我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立葛川中学校

### ○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 【結果について】

#### 《概要》

今回調査のあった国語では、「情報の扱い方に関する事項」と「我が国の言語文化に関する事項」での、正答率が全国・滋賀県の平均を上回りました。一方で、自分の考えを具体的に記述する力に課題があることがわかりました。

数学では、「複数の集団のデータ分布の傾向を比較して読み取る領域」の正答率が全国・滋賀県の平均を上回っていましたが、全体的には無解答率が高く、粘り強く考えて答える力に課題があることがわかりました。

また、生徒質問紙からは、全体的に生活習慣が整い、規範意識が高い傾向が出ていました。しかし、「友達関係に満足しているか」について肯定的に答えている割合が昨年度の結果よりも低下しており、改善に向けての課題があることがわかりました。

#### 《強み・弱み》

##### ① 各教科

基礎的な問題にまじめに取り組むことができる生徒が多く、学習に対して前向きな生徒が確実に力を付けている傾向ができています。国語では、問いと答えがシンプルな出題に関して、正答率は高い数値を示しており、自分の持つ知識を活用して適切な答えを導き出せています。一方で、自分の考えを具体的に記述する形式の問題は苦手なようで、全国平均よりも低い正答率でした。数学では、「複数の集団のデータ分布の傾向を比較して読み取る領域」に関して高い正答率でしたが、無解答率は昨年度と比較すると高くなりました。また、じっくり考え、思考力を問う問題の正答率は低い傾向にありました。

これらの課題克服のために、授業での記述練習の機会を増やしたり、個人がしっかり時間をかけて答えを導き出す課題を設定したりするなど、授業改善を図っていきます。

##### ② 質問紙

起床時間や食事時間が規則正しく、生活習慣が整っている傾向が出ています。また、「いじめはどんな理由があってもいけないこと」などの規範意識にも高い傾向が出ています。家庭での教育に加え、計画的で継続的な様々なKCLプロジェクトでの体験学習を通じて、基本的な生活習慣の確立が意識でき、生活習慣、規範意識の向上につながっていると考えられます。一方、「友達関係に満足しているか」の問いに対して肯定的に回答した割合に少し低下の傾向が見られました。コミュニケーション能力やスキルの育成が今後の課題として考えられます。生徒達の学校生活が充実し、自己肯定感が高められるように、家庭・地域と連携、協力しながら生徒が主体的に学ぶ場をさらに確保できる改善を図っていきます。

### 【指導の充実に向けて】

- ① 授業改善と指導力の向上を目指し、ICTを活用しながら、ユニバーサルデザインを意識した規律ある授業を推進します。
- ② 基礎学力の定着に向け、授業での「めあて」の提示、「振り返り」の実施を徹底します。
- ③ 少人数指導を活かした基礎・基本を徹底する授業や繰り返し学習を充実させます。  
(授業での記述練習の機会を増やす。個人がしっかり時間をかけて答えを導き出す課題を設定 等)
- ④ 帰り学習の時間を充実させ、放課後の時間の使い方を工夫し、学力補充の取り組みを推進します。
- ⑤ 「ふるさと未来科(KCLプロジェクト)」での体験学習において、将来の生き方について考える機会をもち、コミュニケーション能力を育て、たくましく生きる力を育てます。
- ⑥ 小学校との連携を充実させ、「ふるさと未来科」を柱とした、9年間の系統立った学びの場を確保していきます。